

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A			
番号・取組事業名	81001	公共施設等総合管理計画の推進		作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	030300	総務部 資産管理課		責任者	成嶋 正俊	担当者	公共施設マネジメント担当		
取組年度	H28	～	H32						
効果	その他改善								
最終目標	<p>公共施設等の老朽化対策の推進により、「財政負担の軽減・平準化」及び「公共施設の最適な配置」を実現するため、公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。成果指標については、「基本方針編」の数値目標※を踏まえ、公共施設の総量とする。なお、市の総人口は今後10年程度増加傾向が続くものと見通されており、「基本方針編」では、財政負担の抑制を図りつつ、必要に応じて施設の再整備や新規整備等も行いながら、行政サービス機能の確保に努めることとしている。このため、計画値については、平成26年度末時点の数値を目安として設定する。</p> <p>※計画における数値目標：建築別系施設の施設総量（延床面積）の縮減について、将来推計人口を踏まえて段階的な取組を進め、今後40年間で13%縮減することとしている。</p>								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」を策定した。							
平成29年度	実施	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。							
平成30年度	実施	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。							
平成31年度	実施	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。							
平成32年度	完了	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。							
成果指標	指標名	前年度末における公共施設の総量（基準年度の数値を目安に総量抑制を図る）					単位	㎡	
	年度	平成27年度 当初予算（基準）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値	788,067	788,067	788,067	788,067	788,067	788,067	788,067	
	変更計画値							0	
実績値	786,111		787,003				0		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)		公共施設等の 安全性確保と 市民ニーズに 合わせた行政 サービスの提 供		同左	同左	同左	同左		

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A			
番号・取組事業名	81001	公共施設等総合管理計画の推進	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31			
担当部署	030300	総務部 資産管理課	責任者	成嶋 正俊	担当者	公共施設マネジメント担当			
	区分	取組内容・目標							
平成29年度	実施	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	公共施設マネジメント推進会議の運営			○	○	○	○		
2	モデル事業の検討・推進			○	○	○	○		
3	「施設白書編」の更新			○	○	○			
4	個別施設計画の策定支援				○	○	○		
5	計画の進捗管理				○	○	○		
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 個別施設計画の策定に向け、現時点における今後の施設の方向性を整理するため、施設評価を実施。 9月に公共施設マネジメント関係課からなる公共施設マネジメント推進会議を設置。平成29年9月27日に第1回検討会を開催。 「施設白書編」の更新に向け、柏市公共建築物保全情報システムによる各施設単位の情報収集が可能となるようシステムの改修や機能の改良を実施。 				
進捗・実績									
		成果指標名	前年度末における公共施設の総量(基準年度の数値を目安に総量抑制を図る)	計画値	単位	m ²	実績値	単位	m ²
					788,067		787,003		
	年度末	達成状況【成果】	達成	コメント	上半期に実施した施設評価や、公共施設マネジメント推進会議における議論を経て、個別施設計画の全体計画(骨格部分)を担う個別施設再編方針の素案を作成。次年度の行政改革推進委員会からの意見聴取に向け、担当課との協議や素案の微調整を図った。 また、柏市公共建築物保全情報システムによる各施設単位の情報収集を実施し、施設カルテとして整理した。				
		進捗状況【活動】	計画どおり						
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント				
		計画値	無						
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	目標の達成に向けて、今後ともスピード感を持って取り組まれない。					
	方向性	継続実施							

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	A	
番号・取組事業名	81002	市有建築物保全事業	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	030800	総務部 資産管理課 営繕管理室	責任者	成嶋 正俊	担当者	営繕担当建築保全担当		
取組年度	H28	～	H32					
効果	その他改善							
最終目標	公共建築物を安全で快適に利用できる状態を維持するとともに、将来的な保全工事費の把握と施設の長寿命化を図る等財政負担の平準化を目的として、建築物の用途・規模等から予防保全とすべき対象施設と部位を選定し、「中長期保全計画」を策定した上で計画的に保全工事を実施していく。あわせて「中長期保全計画」は、今後「公共施設等総合管理計画」の建築物の計画策定に反映していくもの。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	「中長期保全計画」の策定、予防保全工事を実施した。						
平成29年度	実施	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事の実施						
平成30年度	実施	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事の実施						
平成31年度	実施	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事の実施						
平成32年度	完了	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事の実施						
成果指標	指標名	予防保全工事の実施件数					単位	件
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		13	23				0
	実績値	7	12	22				0
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	計画的な予防保全工事の実施により、突発的な施設の使用障害や事故を避ける	計画的な予防保全工事の実施により、突発的な施設の使用障害や事故を避ける	計画的な予防保全工事の実施により、突発的な施設の使用障害や事故を避ける					

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A			
番号・取組事業名	81002	市有建築物保全事業	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31			
担当部署	030800	総務部 資産管理課 営繕管理室	責任者	成嶋 正俊	担当者	営繕担当建築保全担当			
	区分	取組内容・目標							
平成29年度	実施	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事の実施							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	中長期保全計画及び保全方針等について関係部署との協議			○	○	○	○		
2	保全情報システム及び公共施設等総合管理計画について調整			○	○	○	○		
3	保全情報システム入力データの収集及び整理			○	○				
4	施設所管課へ日常・定期点検実施依頼及び結果取りまとめ			○			○		
5	市有建築物現地調査			○	○				
6	施設所管課及び財政等関係部署との調整, 次年度工事選定				○	○			
7	予防保全工事の設計			○	○	○	○		
8	予防保全工事の実施			○	○	○	○		
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期保全計画の関係部署との協議は随時行われている。 ・保全情報システムへの情報収集は, 上半期及び下半期も行っていく。 ・現地調査は予定の施設の調査は, ほぼ終わっている。 ・施設所管課及び財政等関係部署との調整は現在進行中である。 ・予防保全工事に係る設計及び工事は計画通り進行中である。 					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	予防保全工事の実施件数		計画値	単位	件	実績値	単位	件
					23			22	
	達成状況【成果】	一部達成		コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・予定していた予防保全工事は, 1件が平成30年度に延期したものの概ね計画通り行われた。 ・各取組項目は, 概ね計画通り実施することができた。 				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無		コメント					
	計画値	無							
評価	評価者	鬼沢 徹雄		※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	目標とする「中期保全計画」の計画に沿った予防保全工事が実施できるよう, 今後はスピード感を持って鋭意取り組まれない。				
	方向性	取組み強化							

H29

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	A	
番号・取組事業名	81003	アミュゼ柏及び市民文化会館の設備修繕計画		作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31	
担当部署	160400	地域づくり推進部 地域支援課		責任者	高橋 直資	担当者	山本 常正	
取組年度	H28	～	H32					
効果	その他改善		歳出削減					
最終目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アミュゼ柏クリスタルホール、プラザの舞台照明、音響設備の改修 ・市民文化会館の空調設備改修工事、舞台床修繕 ・上記修繕工事を適切に履行するため、次期指定管理者への募集に対し、工事対応のための休館など一定程度の運営条件を策定する。（次期指定管理者選定時に、契約期間中の施設休館に対する歳入の減少並びに（人件費）支出抑制への対応策の提案を募集する。） 							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	次期指定管理者募集の方針を定め、老朽化等を踏まえた修繕計画を作成した。						
平成29年度	実施	次期指定管理者選定，設計委託（アミュゼ，市民文化会館），工事予算要求						
平成30年度	実施	工事						
平成31年度	実施	工事						
平成32年度	完了	文化施設利用者に対し，予防保全的改修により安定的なサービスの提供を図る						
成果指標	指標名	設計・工事進捗率					単位	%
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		0	33	66	99	100	100
	変更計画値	0		16	66	99	100	100
実績値		0	16				0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)		・指定管理者 募集の市側意 思決定	・指定管理者 事業提案(募 集条件)への 反映	・指定管理料 の調整(人件 費) ・休館期間の 短縮	・指定管理料 の調整(人件 費) ・休館期間の 短縮	後期:アミュゼ 空調改修計画 等への反映		

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A	
番号・取組事業名	81003	アミュゼ柏及び市民文化会館の設備修繕	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31	
担当部署	160400	地域づくり推進部 地域支援課	責任者	高橋 直資	担当者	山本 常正	
	区分	取組内容・目標					
平成29年度	実施	次期指定管理者選定, 設計委託(アミュゼ, 市民文化会館), 工事予算要求					
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1	指定管理者の選定			○	○	○	○
2	文化会館工事設計委託					○	○
3	利用者に工事休館の周知					○	○
4	文化施設のあり方検討, 方針決定			○	○	○	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	指定管理者の選定事務については, スケジュールどおり進んでいる。 文化会館の修繕は, 空調機及び舞台床の設計委託を下半期に実施する予定である。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	設計・工事進捗率	計画値	単位 16	%	実績値 16	%
	達成状況【成果】	達成	コメント	平成30年度以降の指定管理者選定は予定どおり進め, 議会の承認を得た。 文化施設の修繕は, 市民文化会館の空調等改修工事の設計委託を実施し, 次年度に改修工事を実施する予定である。工事に伴う休館については, 工期が定まった時点で速やかに市民に周知した。 アミュゼ柏については, 平成31年度の改修工事に向けた設計委託の予算要求を行った。			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント			
計画値		無					
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	今後とも施設利用者への周知をはじめ, 関係団体及び関係者との協議, 調整など, 適切な対応を図りながら, 改修工事等を実施されたい。			
	方向性	継続実施					

H29

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	B	
番号・取組事業名	81005	老朽管の更新	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	210400	水道部 配水課	責任者	長妻 克典	担当者	工務担当		
取組年度	H28	～	H32					
効果	歳出削減	その他改善						
最終目標	<p>人口急増期に多数布設した管路が、今後急激に更新時期を向かえることから、法定耐用年数(40年)による更新ではなく、より実態に近い更新基準年数の70年とし年間整備量の平準化を図る。また、管路更新を効率的に実施していくために、施設の重要度を考慮した基幹管路や重要施設管路を対象をシフトする。</p> <p>その結果、計画的な更新と長寿命化によってライフサイクルコストが削減され、管路耐震化率100%を目標とする継続的な事業が可能となる。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	老朽管14.0km 重要施設管路2.3km 基幹管路0.7kmを更新した。 管路耐震化率 25.6%						
平成29年度	実施	老朽管11.2km 重要施設管路3.6km 基幹管路2.4kmを更新する。 目標管路耐震化率 25.1%						
平成30年度	実施	老朽管11.2km 重要施設管路2.7km 基幹管路3.5kmを更新する。 目標管路耐震化率 26.5%						
平成31年度	実施	老朽管11.2km 重要施設管路2.7km 基幹管路3.5kmを更新する。 目標管路耐震化率 27.8%						
平成32年度	完了	老朽管11.2km 重要施設管路3.4km 基幹管路2.9kmを更新する。 目標管路耐震化率 29.2% アクションプランとしては終了するが当該事業は、H87年度まで継続する。						
成果指標	指標名	管路耐震化率					単位	%
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		23.8	25.1	26.5	27.8	29.2	29.2
	変更計画値	22.4						0.0
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
変更計画額							0	
実績額							0	
計	当初計画額		0	0	0	0	0	0
	変更計画額		0	0	0	0	0	0
	実績額		0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)			優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	

H29

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	B			
番号・取組事業名	81005	老朽管の更新	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31			
担当部署	210400	水道部 配水課	責任者	長妻 克典	担当者	工務担当			
	区分	取組内容・目標							
平成29年度	実施	老朽管11.2km 重要施設管路3.6km 基幹管路2.4kmを更新する。 目標管路耐震化率 25.1%							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	設計・積算・発注・施工監理			○	○	○	○		
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	上半期分に関し、順次、設計・積算を行い、配水管改良工事19件を発注、現在施工中で順調に進捗している。 下半期分についても、7件を発注する。				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	管路耐震化率	計画値	単位	%	実績値	単位	%
						25.1			27.5
		達成状況【成果】	達成	コメント	「柏市水道事業ビジョン」・「柏市水道施設更新計画」に基づく計画値に準じ、順調に進捗している。また、発注時期の平準化にも取り組み下半期分6件を発注し効率よく事業を行っている。				
		進捗状況【活動】	進んでいる						
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント					
		計画値	無						
評価	評価者	吉川 正昭	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	「柏市水道事業ビジョン」・「柏市水道施設更新計画」に基づき、引き続き事業を進め、建設コストにも注視しながら、発注時期の平準化にも注力していくこと。					
	方向性	継続実施							

H29

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	B			
番号・取組事業名	81006	LED照明導入促進事業(分庁舎等)	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31			
担当部署	080500	環境部 環境政策課	責任者	原田 明廣	担当者	環境政策担当			
取組年度	H29	～	H29						
効果	歳出削減	その他改善							
最終目標	柏市公共施設等低炭素化指針に基づき、市が所有する公共施設の照明についてLED化を進めるもの。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度									
平成29年度	完了 (事業終了)	平成28年度に実施した分庁舎外22施設のLED化により、公共施設におけるCO2排出量を削減した。							
平成30年度									
平成31年度									
平成32年度									
成果指標	指標名	LED化(電気使用料の削減)によるCO2排出量の削減					単位	t-CO2	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値			233	233	233	233	932	
	変更計画値	0							
効果額	計	実績値		80					
		歳入増加	当初計画額						0
			変更計画額						0
			実績額						0
歳出削減	当初計画額	70,427		7,993	7,993	7,993	7,993	31,972	
	変更計画額							0	
	実績額			957				957	
見込まれる その他効果 (金額以外)	当初計画額			7,993	7,993	7,993	7,993	31,972	
	変更計画額			0	0	0	0	0	
	実績額			957	0	0	0	957	

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	B			
番号・取組事業名	81006	LED照明導入促進事業(分庁舎等)	作成日	H29.4.1	更新日	H30.3.31			
担当部署	080500	環境部 環境政策課	責任者	原田 明廣	担当者	環境政策担当			
	区分	取組内容・目標							
平成29年度	完了 (事業終了)	平成28年度に実施した分庁舎外22施設のLED化により、公共施設におけるCO2排出量を削減した。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	省エネ行動の継続			○	○	○	○		
2	LED化によるCO2排出量削減効果の計算・確認				○		○		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	平成28年度に分庁舎外22施設のLED化は完了しているため、平成29年度から電気使用量の削減に伴うCO2排出量の削減効果が得られる。				
進捗・実績									
	年度末	成果指標名	LED化(電気使用料の削減)によるCO2排出量の削減	計画値	単位	t-CO2	実績値	単位	t-CO2
		達成状況【成果】	未達成	コメント		233		80	
		進捗状況【活動】	完了(事業終了)						
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント				
		計画値	無						
評価	評価者	國井 潔	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	リース方式による公共施設のLED化を進め、合計35,705本をLED化した。これにより、電力使用量は従前に比べて、5,905,231kwh/年の省エネ効果、233CO2t/年の削減効果と推測したが、エアコン使用など他のエネルギー利用の兼ね合いで、庁内の電力使用総量は微減にとどまった。このため、原因の分析や領内省エネの徹底、LED化未完の施設のLED化を進めたい。					
	方向性	完了(目的未達成)							

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A			
番号・取組事業名	81007	学校施設長寿命化改良計画		作成日	H29.3.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	270400	学校教育部 学校施設課		責任者	山口 秀明	担当者	財務・計画担当		
取組年度	H29	～	H32						
効果	その他改善								
最終目標	老朽化が進んだ学校施設については、建て替えではなく改修によって対応することで、コストを抑えつつ、安全性を確保し、衛生的な管理や機能の維持を図る。併せて、学習環境の多様化に対応できる設備整備を行うことで、児童生徒の学習環境の向上を目指すとともに、学校運営がしやすく、快適に使えるよう計画的に保全し、維持管理を行う。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度									
平成29年度	実施	昨年度決定したモデル校の学校校舎の老朽化対策計画を策定するにあたり、ワークショップを行い、その際出された様々な意見を集約し、その内容を反映した改修工事の基本計画を策定する。また、モデル校の学校施設を検証することで柏市の全小中学校の老朽化対策実施に繋げる。なお、屋内運動場については2校の改修工事、3校の実施設計を行う。							
平成30年度	実施	モデル校の基本計画を基に、校舎の実施設計を行う。また、屋内運動場については3校の改修工事、3校の実施設計を行う。							
平成31年度	実施	モデル校で校舎の改修工事を行い、3校の校舎について実施設計を行う。また、屋内運動場については3校の改修工事及び3校の実施設計を行う。							
平成32年度	完了	モデル校の校舎の改修工事竣工。校舎については3校の改修工事及び3校の実施設計を行う。また、屋内運動場については3校の改修工事及び3校の実施設計を行う。							
成果指標	指標名	長寿命化改良した学校施設件数（工：工事，設：設計，W：ワークショップ）					単位	件	
	年度	平成27年度 当初予算（基準）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値			工2（設3，W1）	工3（設4）	工4（設6）	工7（設6）	16	
	実績値	0		工2（設2，W1）					
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
計	当初計画額			0	0	0	0	0	
	変更計画額			0	0	0	0	0	
	実績額			0	0	0	0	0	
見込まれる その他効果 (金額以外)				建物を長寿命化することで、整備コストを平準化する。また、予防保全に切り替える足がかりとする。					

アクションプラン(平成29年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A		
番号・取組事業名	81007	学校施設長寿命化改良計画	作成日	H29.3.1	更新日	H30.3.31		
担当部署	270400	学校教育課 学校施設課	責任者	山口 秀明	担当者	財務・計画担当		
	区分	取組内容・目標						
平成29年度	実施	昨年度決定したモデル校の学校校舎の老朽化対策計画を策定するにあたり、ワークショップを行い、その際出された様々な意見を集約し、その内容を反映した改修工事の基本計画を策定する。また、モデル校の学校施設を検証することで柏市の全小中学校の老朽化対策実施に繋げる。なお、屋内運動場については2校の改修工事、3校の実施設計を行う。						
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	ワークショップ, 意見の集約			○	○	○		
2	基本計画策定					○	○	
3	屋内運動場長寿命化改良工事				○	○	○	
4	屋内運動場長寿命化改良設計					○	○	
5								
6								
7								
8								
9								
10								
進捗								
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	モデル校である土小学校での第1回ワークショップ(全4回開催)開催に先立ち、(学校施設保全計画)部内検討委員会を6月20日に設置及び同日に第1回委員会を開催、また、6月29日に(土小学校校舎長寿命化改良基本計画)作業分科会を設置及び同日に第1回分科会を開催し、設置要領の確認及び意見交換を行った。上記ワークショップについては9月21日に開催した。ワークショップでは、その主旨及び位置付け等を説明、その後本市の目指す学校像及び学校の複合化等を検討するために学校への想いをイラスト等で表現し、その内容についてグループワークを実施しどのように関わっていけばよいかを確認した。なお、第2回検討委員会は10月11日に開催、10月21日に第2回ワークショップを開催予定としている。また、屋内運動場については、今年度2校の長寿命化改良工事、3校の実施設計を行っている。			
進捗・実績								
		成果指標名	長寿命化改良した学校施設件数(工:工事, 設:設計, W:ワークショップ)	計画値	単位 工2(設3, W1)	件 実績値	単位 工2(設2, W1)	件
	年度末	達成状況【成果】	一部達成	コメント	モデル校である土小学校の老朽化対策については、ワークショップを4回開催し、校舎改修案を作成した。作業分科会及び部内検討委員会で改修案の了承を得て、同校校舎長寿命化改良基本計画方針を策定し、来年度の実施設計に向けた準備を進めている。			
		進捗状況【活動】	遅れている		屋内運動場長寿命化工事については、2校(高田小, 大津一小)の設計及び2校(酒井根小, 南部中)の工事を完了した。光ヶ丘小の設計については、建築に係る許可の諮問機関である流山市建築審査会の開催が3月16日のため、事業が完了していない。事業完了は平成30年5月下旬を予定している。			
		計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	光ヶ丘小の設計については来年度完了予定のため、設計件数1増となる。		
		計画値	有					
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	今後、学校施設長寿命化改良計画策定を含め、予防保全工事が実施できるよう、スピード感を持って鋭意取り組まれない。また、施設の長寿命化を図るにあたっては、施設利用者をはじめ学校関係者等の意見、要望等を受け止め、そして反映していくことが重要であることを意識して取り組まれない。				
	方向性	取組み強化						